

平成十年八月四日受領
答弁第六三三号

内閣衆質一四二第六三号

平成十年八月四日

内閣総理大臣 小 渕 恵 三

衆議院議長 伊藤宗一郎殿

衆議院議員保坂展人君提出使用済核燃料輸送容器の放射能汚染の原因究明に関する質問に対し、別紙答弁書を送付する。

衆議院議員保坂展人君提出使用済核燃料輸送容器の放射能汚染の原因究明に関する質問に対する答弁書

(1) について

電気事業者は、使用済燃料を原子炉施設を設置した事業所の外へ搬出する場合には、管理区域内において、使用済燃料を輸送容器に収納した上、純水による洗浄等によりあらかじめ輸送容器表面の汚染の除去を行った後、核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律（昭和三十二年法律第六十六号。以下「原子炉等規制法」という。）第二十七条の規定に基づく保安規定で定める使用済燃料の運搬に係る確認体制に従って、輸送容器表面等における線量当量率、輸送容器表面の放射性物質の密度等について、核燃料物質等の工場又は事業所の外における運搬に関する規則（昭和五十三年総理府令第五十七号。以下「場外運搬規則」という。）で定める技術上の基準又は実用発電用原子炉の設置、運転等に関する規則（昭和五十三年通商産業省令第七十七号）及び危険物船舶運送及び貯蔵規則（昭和三十二年運輸省令第三十号。以下「危険物船舶運送規則」という。）で定める技術上の基準に適合することの確認を行っているところである。

(2) について

電気事業者等が使用済燃料を原了炉施設等を設置した工場又は事業所の外において運搬する場合（船舶又は航空機により運搬する場合を除く。）には、原子炉等規制法第五十九条の二第二項の規定に基づき、その運搬する物についての措置が場外運搬規則で定める線量当量率、放射性物質の密度等に関する技術上の基準に適合することについて、科学技術庁長官（一部については、指定運搬物確認機関。以下同じ。）が確認を行っている。

また、船舶により使用済燃料を運搬する場合には、原子炉等規制法第五十九条の二第二項の規定に基づく科学技術庁長官の確認又は航空法施行規則（昭和二十七年運輸省令第五十六号。以下「航空規則」という。）第百九十四条第二項第二号ハ、ニ若しくはへ（放射性輸送物に関する技術上の基準に係るものに限る。）の規定に基づく運輸大臣の確認を受けた場合を除き、その運搬する物についての措置が危険物船舶運送規則で定める線量当量率、放射性物質の密度等に関する技術上の基準に適合することについて、船積み前に運輸大臣（一部については、地方運輸局長。以下同じ。）が確認を行っている。

平成五年一月から平成十年一月までの間において我が国の電気事業者から英国又はフランスの再処理工

場に輸送された使用済燃料を収納した輸送容器三百三十七基のうち、科学技術庁長官又は運輸大臣が確認を行った際に、当該輸送容器表面の放射性物質の密度が検出限界値を超えたものは六十一基あったが、表面の放射性物質の密度が表面密度限度を超えたものはない。

また、同時期において電気事業者から国内の再処理工場に輸送された使用済燃料を収納した輸送容器九十一基のうち、科学技術庁長官が確認を行った際に、当該輸送容器表面の放射性物質の密度が検出限界値を超えたものはない。

(3) について

我が国から英国及びフランスの再処理工場に輸送された使用済燃料の発電所、原子炉別の量は、別表一のとおりであると承知している。

また、これらの使用済燃料のうち、昭和六十三年四月一日以降に輸送が開始されたものについての発電所からの搬出日及び再処理工場への到着日並びに輸送に供された船舶の名称は、別表二のとおりであると承知している。

(4) について

使用済燃料の運搬については、電気事業者及び電気事業者から運搬を委託された者が、核燃料物質又は核燃料物質によって汚染された物による災害の防止その他保安のために必要な措置を講ずる責任を有している。

我が国からフランスに輸送された使用済燃料を収納した輸送容器の汚染については、英国核燃料会社から、関西電力に対し平成二年（千九百九十年）、平成四年（千九百九十二年）及び平成五年（千九百九十三年）にフランスにおいてそれぞれ四基、六基及び一基に表面密度限度を超える汚染が発見されたこと、また、九州電力に対し平成六年（千九百九十四年）にフランスにおいて二基に表面密度限度を超える汚染が発見されたことが通報されていたが、これらの通報がなされた時点では、電気事業者から国への報告はなされていない。その後、フランス核燃料会社から、関西電力に対し、右の十三基の汚染のほか、平成三年（千九百九十一年）にもフランスにおいて二基に表面密度限度を超える汚染が発見されたことが平成十年（千九百九十八年）五月下旬に通報され、これを受けて、これら十五基の汚染について電気事業者から国への報告がなされている。

政府においては、電気事業者に対し、輸送容器の汚染に関する情報を入手した場合の国への報告につい

て指導するとともに、現在、これらの汚染が生じた原因について海外からの情報収集等を進めているところである。

(5) 及び (6) について

御指摘の「国際原子力機関 (IAEA) は、一九八五年に日本からフランスに運ばれた使用済み核燃料輸送容器に「放射能の涙」現象が認められ危険であることを指摘していた」との事実については承知していない。

なお、昭和六十年 (千九百八十五年) に国際原子力機関において放射性物質安全輸送規則が定められた際に、同規則の参考文書として、輸送容器の汚染を防止するための方法等について記載した安全シリーズ三十七 (以下「SS37」という。) が作成され、公刊されているところ、その内容については、我が国の電気事業者に対しても、国際原子力機関や原子力安全委員会の分科会におけるSS37に関する議論への参加等を通じて一般に周知されているものと承知している。

(7) について

前述のとおり、現在、政府においても、平成二年 (千九百九十年) から平成六年 (千九百九十四年) ま

での間にフランスに輸送された使用済燃料を収納した輸送容器の一部に軽度な汚染が生じていた原因について海外からの情報収集等を進めているところであるが、使用済燃料を原子炉施設等を設置した工場又は事業所の外において運搬する場合には、原子炉等規制法、危険物船舶運送規則又は航空規則の規定に基づき、その運搬する物についての措置が関係規制法令で定める技術上の基準に適合することについて科学技術庁長官又は運輸大臣が確認を行い、安全を確保することとしており、政府としては、使用済燃料の輸送を中止する必要はないものと考えている。

別表一

発電所・原子炉	輸送量(トン・ウラン)
東海	一、二九四
東海第二	一九四
敦賀一号	二一六
泊一号	一四
泊二号	一二
女川原子力一号	九〇
福島第一原子力一号	一一九
福島第一原子力二号	二七一
福島第一原子力三号	三一六
福島第一原子力四号	二一九
福島第一原子力五号	二二三
福島第一原子力六号	二八二
福島第二原子力一号	二四〇
福島第二原子力二号	一四三
福島第二原子力三号	六一
浜岡原子力一号	二二三
浜岡原子力二号	三三四

志賀原子力一号	二七
美浜一号	一三
美浜二号	一〇七
美浜三号	三六七
高浜一号	三二五
高浜二号	三〇四
高浜三号	一九
高浜四号	一三
大飯一号	三〇七
大飯二号	三九三
島根原子力一号	一四四
島根原子力二号	四七
伊方一号	一三七
伊方二号	九六
玄海原子力一号	一五六
玄海原子力二号	一五六
川内原子力一号	一六
川内原子力二号	四六

発電所・原子炉	搬出日	到着日	輸送船名
福島第一原子力三号	昭和六十三年四月十三日	昭和六十三年六月八日	パシフィック・スワン
浜岡原子力一号	昭和六十三年四月十五日	昭和六十三年六月三日	パシフィック・スワン
島根原子力一号	昭和六十三年五月十七日	昭和六十三年七月六日	パシフィック・ピンテール
島根原子力一号	昭和六十三年五月十七日	昭和六十三年七月十三日	パシフィック・ピンテール
東海第二	昭和六十三年五月二十一日	昭和六十三年七月六日	* パシフィック・ピンテール
浜岡原子力一号	昭和六十三年五月二十四日	昭和六十三年七月八日	パシフィック・ピンテール
東海第二	昭和六十三年六月九日	昭和六十三年八月十一日	* パシフィック・サンドパイパー
東海	昭和六十三年六月十三日	昭和六十三年八月十四日	* パシフィック・サンドパイパー
福島第二原子力二号	昭和六十三年六月十六日	昭和六十三年八月十九日	パシフィック・サンドパイパー
玄海原子力一号	昭和六十三年六月二十一日	昭和六十三年八月十九日	パシフィック・サンドパイパー
敦賀一号	昭和六十三年六月二十五日	昭和六十三年八月十四日	* パシフィック・サンドパイパー
福島第一原子力五号	昭和六十三年七月二十六日	昭和六十三年九月十九日	パシフィック・ティール
玄海原子力二号	昭和六十三年九月十四日	昭和六十三年十一月十日	パシフィック・クレーン
伊方一号	昭和六十三年九月十六日	昭和六十三年十一月十一日	パシフィック・クレーン
浜岡原子力二号	昭和六十三年九月二十日	昭和六十三年十一月十日	パシフィック・クレーン
高浜一号	昭和六十三年十月十二日	昭和六十三年十二月八日	パシフィック・スワン
美浜三号	昭和六十三年十月十五日	昭和六十三年十二月八日	パシフィック・スワン
福島第二原子力三号	昭和六十三年十月二十日	昭和六十三年十二月十五日	パシフィック・スワン

高浜二号	昭和六十三年十一月二日	平成元年一月二十四日		パシフィック・ピンテール
福島第一原子力四号	昭和六十三年十一月八日	平成元年一月二十三日		パシフィック・ピンテール
伊方二号	昭和六十三年十一月十四日	昭和六十四年一月四日		パシフィック・ピンテール
東海	昭和六十三年十一月三十日	平成元年一月二十三日	*	パシフィック・サンドパイパー
玄海原子力二号	昭和六十三年十二月八日	平成元年一月三十一日		パシフィック・サンドパイパー
福島第一原子力六号	昭和六十三年十二月二十一日	平成元年二月七日		パシフィック・ティール
伊方二号	平成元年三月二十三日	平成元年五月十一日		パシフィック・クレーン
福島第一原子力二号	平成元年三月三十日	平成元年五月十六日		パシフィック・クレーン
玄海原子力二号	平成元年四月二十一日	平成元年六月十二日		パシフィック・ピンテール
福島第二原子力一号	平成元年四月二十一日	平成元年六月二十二日		パシフィック・スワン
浜岡原子力二号	平成元年四月二十五日	平成元年六月十六日		パシフィック・スワン
東海第二	平成元年四月二十七日	平成元年六月九日	*	パシフィック・ピンテール
大飯一号	平成元年五月二十三日	平成元年八月三日		パシフィック・サンドパイパー
大飯二号	平成元年五月二十三日	平成元年八月三日		パシフィック・サンドパイパー
島根原子力一号	平成元年五月二十五日	平成元年八月二十二日		パシフィック・サンドパイパー
島根原子力二号	平成元年五月二十五日	平成元年九月二十日		パシフィック・サンドパイパー
浜岡原子力二号	平成元年五月三十日	平成元年八月二十二日		パシフィック・サンドパイパー
東海第二	平成元年六月二日	平成元年七月十八日	*	パシフィック・サンドパイパー
玄海原子力二号	平成元年六月二十六日	平成元年八月三十日		パシフィック・ティール
美浜三号	平成元年六月二十九日	平成元年八月十七日		パシフィック・ティール
大飯一号	平成元年七月一日	平成元年八月三十一日		パシフィック・ティール

大飯二号	平成元年七月一日	平成元年八月三十一日		パシフィック・テイル
福島第一原子力三号	平成元年九月一日	平成元年十一月二日		パシフィック・クレーン
伊方一号	平成元年九月五日	平成元年十月二十七日		パシフィック・クレーン
敦賀一号	平成元年九月十九日	平成元年十一月十七日	*	パシフィック・ピンテール
美浜二号	平成元年九月二十一日	平成元年十一月三日		パシフィック・ピンテール
高浜二号	平成元年十月十二日	平成元年十二月四日		パシフィック・スワン
福島第二原子力二号	平成元年十月十八日	平成元年十二月十一日		パシフィック・スワン
東海	平成元年十二月一日	平成二年一月二十五日	*	パシフィック・サンドパイパー
浜岡原子力二号	平成元年十二月五日	平成二年二月七日		パシフィック・サンドパイパー
福島第二原子力二号	平成元年十二月九日	平成二年二月二十日		パシフィック・サンドパイパー
福島第一原子力四号	平成元年十二月十八日	平成二年二月二十日		パシフィック・テイル
福島第一原子力五号	平成元年十二月十八日	平成二年二月二十日		パシフィック・テイル
玄海原子力一号	平成元年十二月二十三日	平成二年二月十五日		パシフィック・テイル
女川原子力一号	平成二年三月十三日	平成二年五月九日		パシフィック・クレーン
福島第一原子力五号	平成二年三月十四日	平成二年四月二十七日		パシフィック・クレーン
福島第一原子力五号	平成二年四月二十日	平成二年六月二日		パシフィック・ピンテール
女川原子力一号	平成二年五月二十五日	平成二年七月二十六日		パシフィック・スワン
浜岡原子力二号	平成二年五月三十日	平成二年八月一日		パシフィック・スワン
伊方二号	平成二年六月一日	平成二年八月七日		パシフィック・スワン
東海第二	平成二年六月六日	平成二年七月二十四日	*	パシフィック・スワン
浜岡原子力二号	平成二年六月十二日	平成二年八月一日		パシフィック・スワン

東海	平成二年六月二十七日	平成二年八月二十四日	*	パシフィック・サンドパイパー
福島第一原子力六号	平成二年六月三十日	平成二年八月二十八日		パシフィック・サンドパイパー
敦賀一号	平成二年七月四日	平成二年九月六日	*	パシフィック・サンドパイパー
大飯一号	平成二年七月六日	平成二年八月三十日		パシフィック・サンドパイパー
大飯二号	平成二年七月六日	平成二年八月三十日		パシフィック・サンドパイパー
大飯二号	平成二年七月六日	平成二年九月三日		パシフィック・サンドパイパー
伊方一号	平成二年七月十一日	平成二年九月五日		パシフィック・サンドパイパー
高浜一号	平成二年九月十二日	平成二年十一月八日		パシフィック・クレーン
島根原子力一号	平成二年九月十四日	平成二年十一月五日		パシフィック・クレーン
島根原子力一号	平成二年九月十四日	平成二年十一月十四日		パシフィック・クレーン
福島第一原子力六号	平成二年九月十八日	平成二年十一月十四日		パシフィック・ピンテール
福島第一原子力二号	平成二年十月三日	平成二年十一月三十日		パシフィック・ピンテール
大飯二号	平成二年十月十日	平成二年十二月十三日		パシフィック・ピンテール
美浜三号	平成二年十月十二日	平成二年十二月五日		パシフィック・ピンテール
東海第二	平成二年十月十六日	平成二年十二月十一日	*	パシフィック・スワン
浜岡原子力二号	平成二年十月十七日	平成二年十二月五日		パシフィック・ピンテール
福島第一原子力一号	平成二年十月十八日	平成二年十二月十一日		パシフィック・スワン
玄海原子力二号	平成二年十月二十三日	平成二年十二月十四日		パシフィック・スワン
美浜二号	平成二年十月二十六日	平成二年十二月十九日		パシフィック・スワン
福島第一原子力三号	平成二年十二月八日	平成三年二月十三日		パシフィック・ティール
敦賀一号	平成二年十二月十三日	平成三年二月十五日	*	パシフィック・ティール

玄海原子力一号	平成二年十二月十七日	平成三年二月二十日	パシフィック・ティール
東海	平成二年十二月二十四日	平成三年二月五日	パシフィック・サンドパイパー
女川原子力一号	平成三年四月三日	平成三年五月十七日	パシフィック・クレーン
福島第一原子力五号	平成三年四月十七日	平成三年六月五日	パシフィック・ピンテール
福島第一原子力二号	平成三年四月十七日	平成三年六月七日	パシフィック・ピンテール
高浜二号	平成三年六月四日	平成三年七月二十三日	パシフィック・スワン
女川原子力一号	平成三年六月七日	平成三年七月二十三日	パシフィック・スワン
浜岡原子力二号	平成三年六月二十五日	平成三年八月十二日	パシフィック・ティール
東海	平成三年六月二十八日	平成三年八月二十二日	パシフィック・サンドパイパー
美浜二号	平成三年七月四日	平成三年八月二十三日	パシフィック・サンドパイパー
浜岡原子力二号	平成三年七月九日	平成三年八月二十九日	パシフィック・サンドパイパー
島根原子力一号	平成三年九月十日	平成三年十一月五日	パシフィック・クレーン
島根原子力一号	平成三年九月十日	平成三年十一月五日	パシフィック・クレーン
美浜三号	平成三年九月十三日	平成三年十一月八日	パシフィック・クレーン
玄海原子力一号	平成三年十月二十一日	平成三年十二月三十日	パシフィック・ピンテール
大飯一号	平成三年十月二十三日	平成三年十二月二十四日	パシフィック・スワン
大飯二号	平成三年十月二十三日	平成三年十二月二十四日	パシフィック・スワン
伊方二号	平成三年十月二十四日	平成三年十二月三十一日	パシフィック・ピンテール
高浜一号	平成三年十月二十五日	平成三年十二月十日	パシフィック・スワン
敦賀一号	平成三年十月三十日	平成四年一月四日	パシフィック・ピンテール
美浜一号	平成三年十一月一日	平成三年十二月三十一日	パシフィック・ピンテール

福島第二原子力一号	平成三年十一月七日	平成三年十二月三十日	パシフィック・ピンテール
福島第一原子力一号	平成三年十一月二十七日	平成四年一月二十九日	パシフィック・サンドパイパー
東海第二	平成三年十一月二十八日	平成四年二月十八日	パシフィック・サンドパイパー
東海	平成三年十一月二十九日	平成四年一月十六日	パシフィック・サンドパイパー
浜岡原子力一号	平成三年十二月七日	平成四年四月十日	パシフィック・サンドパイパー
福島第一原子力六号	平成三年十二月十四日	平成四年三月十七日	パシフィック・テイル
川内原子力二号	平成三年十二月十九日	平成四年三月十七日	パシフィック・テイル
美浜二号	平成四年四月二十四日	平成四年六月八日	パシフィック・スワン
福島第一原子力二号	平成四年四月二十八日	平成四年六月十一日	パシフィック・スワン
敦賀一号	平成四年五月二十七日	平成四年八月六日	パシフィック・ピンテール
大飯一号	平成四年五月二十九日	平成四年七月二十四日	パシフィック・ピンテール
大飯二号	平成四年五月二十九日	平成四年七月二十四日	パシフィック・ピンテール
女川原子力一号	平成四年六月一日	平成四年八月四日	パシフィック・ピンテール
島根原子力一号	平成四年六月五日	平成四年七月二十九日	パシフィック・ピンテール
島根原子力二号	平成四年六月五日	平成四年七月三十日	パシフィック・ピンテール
高浜三号	平成四年六月五日	平成四年八月七日	パシフィック・サンドパイパー
福島第二原子力三号	平成四年六月十日	平成四年八月七日	パシフィック・サンドパイパー
東海	平成四年六月十七日	平成四年七月三十一日	パシフィック・サンドパイパー
川内原子力一号	平成四年六月二十五日	平成四年八月二十七日	パシフィック・テイル
福島第一原子力二号	平成四年七月三日	平成四年九月十四日	パシフィック・テイル
福島第一原子力三号	平成四年七月三日	平成四年九月十四日	パシフィック・テイル

美浜一号	平成四年七月八日	平成四年九月四日	パシフィック・テイル
島根原子力一号	平成四年十月五日	平成四年十二月十一日	パシフィック・スワン
大飯一号	平成四年十月八日	平成四年十二月七日	パシフィック・スワン
大飯二号	平成四年十月八日	平成四年十二月七日	パシフィック・スワン
美浜三号	平成四年十月九日	平成四年十二月七日	パシフィック・スワン
高浜一号	平成四年十一月六日	平成四年十二月二十三日	パシフィック・ピンテール
伊方一号	平成四年十一月十日	平成四年十二月二十四日	パシフィック・ピンテール
女川原子力一号	平成四年十二月四日	平成五年二月二十四日	パシフィック・サンドパイパー
浜岡原子力二号	平成四年十二月九日	平成五年二月十九日	パシフィック・サンドパイパー
東海	平成四年十二月十三日	平成五年一月二十八日	*
玄海原子力二号	平成四年十二月十七日	平成五年二月九日	パシフィック・テイル
福島第一原子力四号	平成四年十二月二十四日	平成五年二月十七日	パシフィック・テイル
福島第一原子力六号	平成四年十二月二十四日	平成五年三月五日	パシフィック・テイル
敦賀一号	平成五年三月十八日	平成五年五月二十七日	*
福島第一原子力一号	平成五年三月二十三日	平成五年五月十二日	パシフィック・スワン
福島第二原子力一号	平成五年三月二十六日	平成五年五月十八日	パシフィック・スワン
大飯一号	平成五年四月二十二日	平成五年七月七日	パシフィック・ピンテール
大飯二号	平成五年四月二十二日	平成五年七月七日	パシフィック・ピンテール
浜岡原子力一号	平成五年四月二十七日	平成五年七月二十日	パシフィック・ピンテール
島根原子力一号	平成五年五月二十八日	平成五年八月六日	パシフィック・サンドパイパー
高浜四号	平成五年六月八日	平成五年八月六日	パシフィック・サンドパイパー

東海	平成五年六月十四日	平成五年七月二十五日	*	パシフィック・サンドパイパー
浜岡原子力一号	平成五年六月二十一日	平成五年八月二十日		パシフィック・ティール
美浜三号	平成五年六月二十五日	平成五年九月三日		パシフィック・ティール
川内原子力二号	平成五年六月二十八日	平成五年八月二十七日		パシフィック・ティール
敦賀一号	平成五年十月五日	平成五年十一月二十七日	*	パシフィック・スワン
島根原子力二号	平成五年十月八日	平成五年十二月九日		パシフィック・スワン
女川原子力一号	平成五年十月十二日	平成五年十一月三十日		パシフィック・スワン
東海	平成五年十月十四日	平成五年十一月二十七日	*	パシフィック・スワン
高浜一号	平成五年十月二十一日	平成五年十二月十三日		パシフィック・ピンテール
福島第一原子力二号	平成五年十一月二十七日	平成六年一月三十一日		パシフィック・サンドパイパー
東海	平成五年十二月四日	平成六年一月二十六日	*	パシフィック・サンドパイパー
玄海原子力一号	平成五年十二月十六日	平成六年二月二十一日		パシフィック・ティール
福島第一原子力三号	平成五年十二月二十三日	平成六年二月二十一日		パシフィック・クレーン
大飯二号	平成六年三月五日	平成六年五月二十日		パシフィック・ピンテール
女川原子力一号	平成六年三月八日	平成六年四月二十日		パシフィック・ピンテール
浜岡原子力二号	平成六年三月十日	平成六年五月三十一日		パシフィック・ピンテール
福島第一原子力四号	平成六年四月二十二日	平成六年六月二十四日		パシフィック・サンドパイパー
福島第一原子力五号	平成六年四月二十二日	平成六年六月二十四日		パシフィック・サンドパイパー
玄海原子力二号	平成六年四月二十六日	平成六年六月二十日		パシフィック・サンドパイパー
浜岡原子力二号	平成六年六月二日	平成六年七月二十九日		パシフィック・ティール
島根原子力二号	平成六年六月六日	平成六年七月二十五日		パシフィック・ティール

美浜三号	平成六年十月二日	平成六年十一月二十三日	パシフィック・サンドパイパー
高浜二号	平成六年十一月八日	平成七年一月五日	パシフィック・ピンテール
川内原子力二号	平成六年十一月十一日	平成六年十二月二十八日	パシフィック・ピンテール
女川原子力一号	平成六年十二月六日	平成七年二月六日	パシフィック・クレーン
女川原子力一号	平成六年十二月六日	平成七年二月二十二日	パシフィック・クレーン
浜岡原子力一号	平成六年十二月八日	平成七年二月三日	パシフィック・クレーン
浜岡原子力一号	平成六年十二月八日	平成七年二月八日	パシフィック・クレーン
福島第一原子力二号	平成七年五月十五日	平成七年七月五日	パシフィック・ピンテール
福島第一原子力三号	平成七年五月十五日	平成七年七月五日	パシフィック・ピンテール
浜岡原子力一号	平成七年五月二十五日	平成七年七月二十日	パシフィック・サンドパイパー
浜岡原子力二号	平成七年五月二十五日	平成七年七月二十日	パシフィック・サンドパイパー
東海	平成七年五月二十七日	平成七年七月十三日	パシフィック・サンドパイパー
島根原子力一号	平成七年五月三十一日	平成七年七月二十日	パシフィック・サンドパイパー
高浜二号	平成七年六月十六日	平成七年八月九日	パシフィック・クレーン
浜岡原子力二号	平成七年七月四日	平成七年八月二十五日	パシフィック・テイール
福島第一原子力五号	平成七年七月七日	平成七年八月三十日	パシフィック・テイール
大飯一号	平成七年九月十五日	平成七年十一月二十八日	パシフィック・ピンテール
大飯二号	平成七年九月十五日	平成七年十一月二十八日	パシフィック・ピンテール
泊一号	平成七年九月十九日	平成七年十一月四日	パシフィック・ピンテール
東海	平成七年十月十九日	平成七年十二月二十九日	パシフィック・サンドパイパー
浜岡原子力二号	平成七年十月二十日	平成八年一月二十四日	パシフィック・サンドパイパー

美浜三号	平成七年十月二十七日	平成七年十二月二十一日	パシフィック・サンドパイパー
福島第一原子力三号	平成七年十一月十日	平成八年一月九日	パシフィック・クレーン
高浜一号	平成七年十一月十七日	平成八年一月十一日	パシフィック・クレーン
高浜一号	平成七年十一月十七日	平成八年一月十五日	パシフィック・クレーン
浜岡原子力一号	平成八年五月十五日	平成八年七月五日	パシフィック・ピンテール
東海	平成八年六月六日	平成八年七月二十二日	パシフィック・サンドパイパー
浜岡原子力二号	平成八年七月四日	平成八年九月十日	パシフィック・テイル
志賀原子力一号	平成八年七月九日	平成八年九月十六日	パシフィック・テイル
泊二号	平成八年七月十二日	平成八年八月三十一日	パシフィック・テイル
浜岡原子力一号	平成八年九月十九日	平成八年十一月十九日	パシフィック・ピンテール
高浜二号	平成八年十一月三十日	平成九年二月十九日	パシフィック・サンドパイパー
浜岡原子力二号	平成八年十二月四日	平成九年三月三日	パシフィック・サンドパイパー
東海	平成八年十二月八日	平成九年一月二十四日	パシフィック・サンドパイパー
高浜一号	平成九年三月二十七日	平成九年六月二日	パシフィック・テイル
東海	平成九年六月七日	平成九年七月二十一日	パシフィック・サンドパイパー
志賀原子力一号	平成九年七月十五日	平成九年八月二十九日	パシフィック・ピンテール
志賀原子力二号	平成九年七月十五日	平成九年九月二日	パシフィック・ピンテール
美浜三号	平成九年十月二十四日	平成十年一月十三日	パシフィック・サンドパイパー
浜岡原子力一号	平成九年十月二十八日	平成十年一月十二日	パシフィック・サンドパイパー
東海	平成九年十一月一日	平成九年十二月二十二日	パシフィック・サンドパイパー

(注) *印は到着予定日